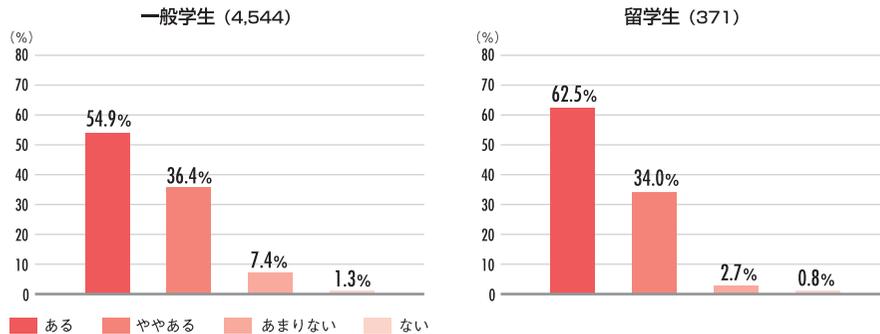


# 第1章 授業・教員・勉強について

本章では、学部学生の授業や勉強に関する意識や教員とのコミュニケーション状況に関する調査結果をまとめました。

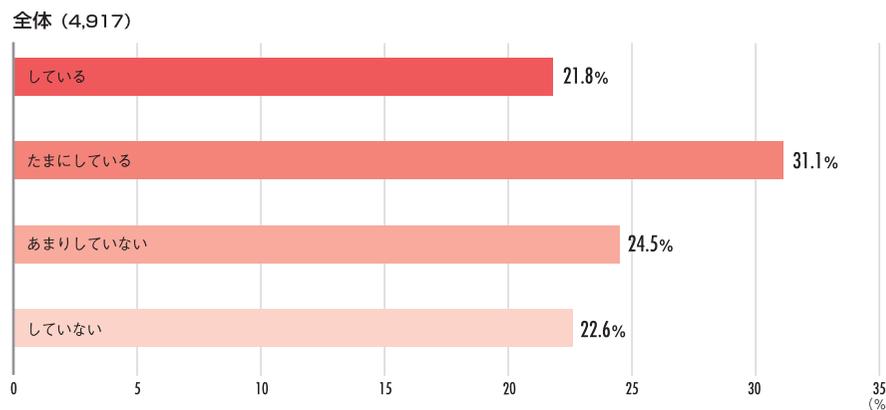
※学部学生の調査結果です。

## 大学の授業に興味がありますか？



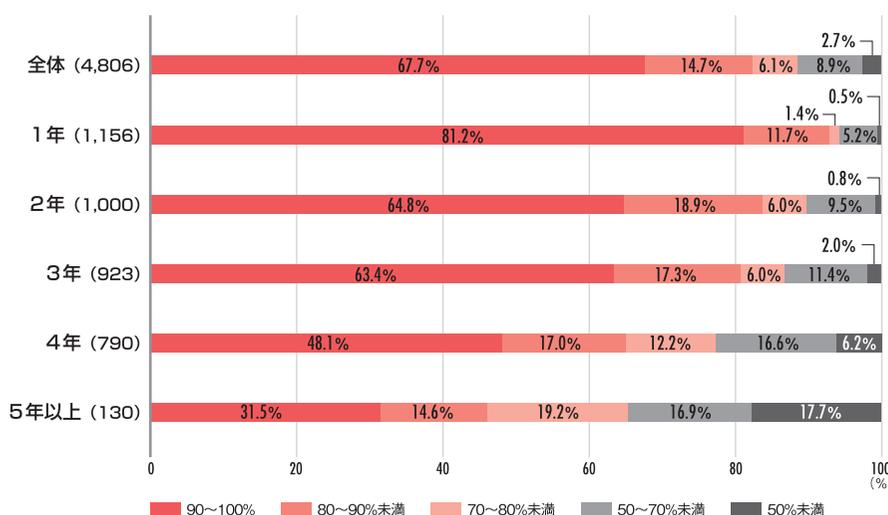
「興味がある」の割合は留学生が一般学生を上回る傾向がうかがえますが、興味「ある」「ややある」を合計すると、90%以上の学生は授業に興味があると回答しています。

## 短時間でも教員と話をしていますか？



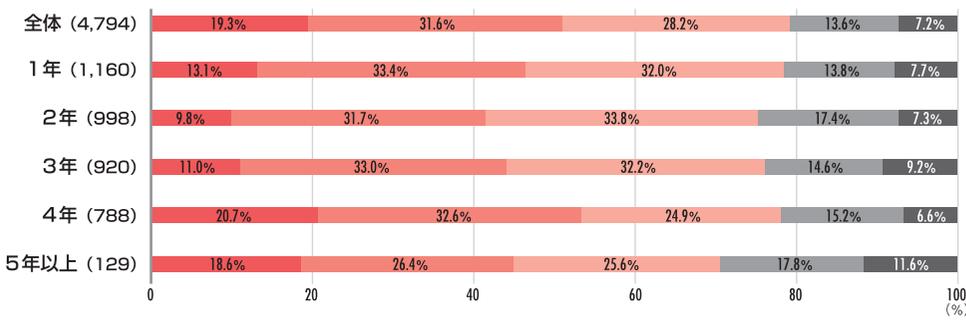
教員と話を「している」「たまにしている」を合計すると、約半数の学生は教員と話す時間を持っているようです。皆さんも積極的に教員と話す機会を見つけてください。新たな課題発見につながるかもしれません。

## 今年度（春学期）の授業平均出席率はどれくらいですか？



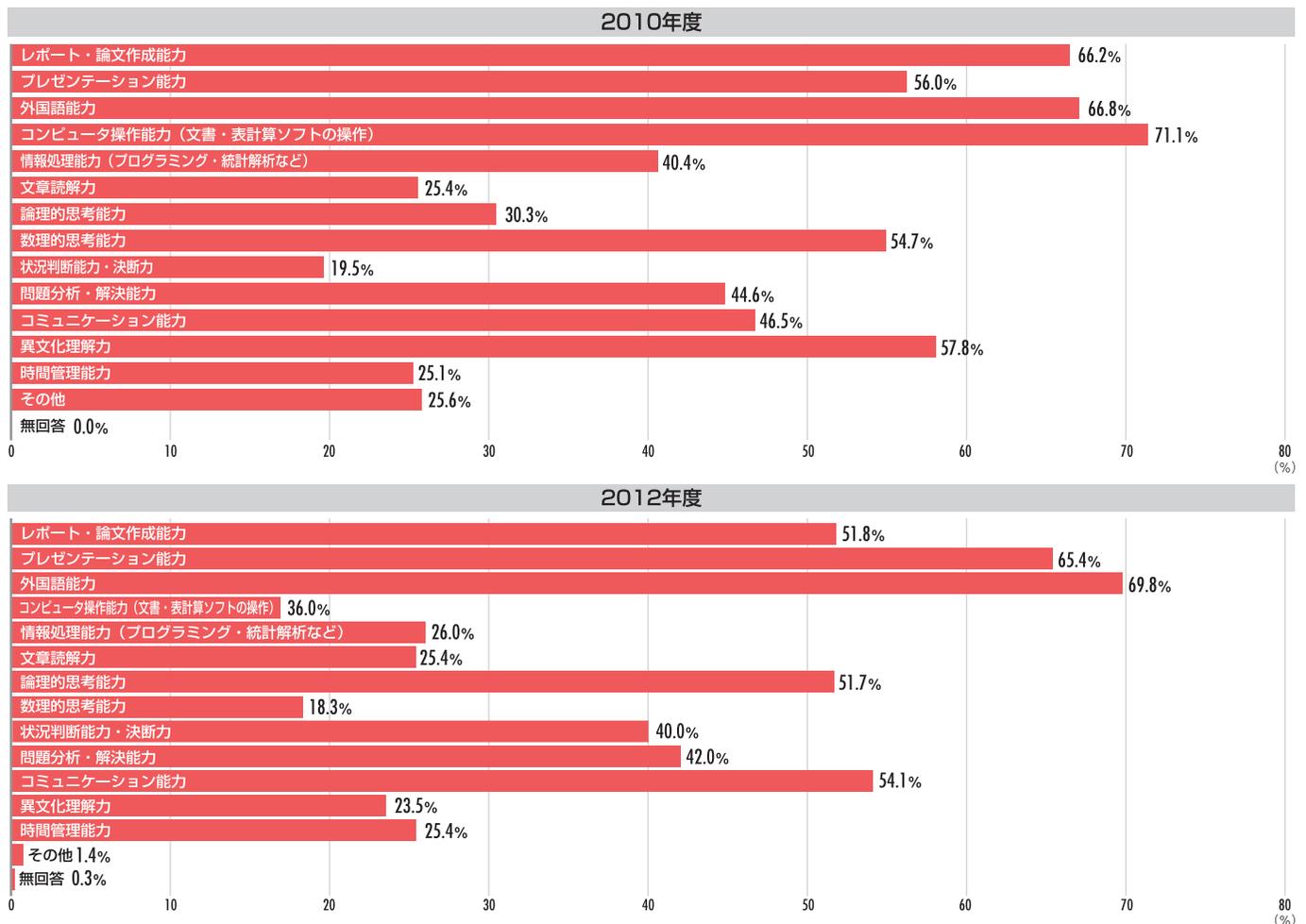
9割以上授業に出席している学生は全体の67.7%で、さらに8割以上授業に出席している学生まで含めると全体の82.4%です。早大生の高い授業出席率が裏付けられましたが、少数ながら存在する授業出席率が芳しくない低学年の学生については気掛かりです。悩み事などがありましたら、遠慮なく各学部・研究科事務所または学生生活課までご相談ください。

## 今あなたが履修している授業の中で満足するものはどれくらいありますか？



学部学生の授業の満足度80%以上は、全体的に見ると約2割ですが、満足度60%以上の回答は約半数となっています。

## 現在、特に身に付けたいと思うものは何ですか？(2010年度から隔年で設問)



2年前に比べて「コンピュータ操作能力」や「情報処理能力」の割合が低くなっているのは、IT環境への適応性のあらわれとも見てとれます。

その一方で「プレゼンテーション能力」や「コミュニケーション能力」の割合が高くなっているのは、授業その他で相手とコミュニケーションをとって議論や説明をする機会が増えたためと思われます。

一方、「レポート・論文作成能力」の割合が低くなったのは気掛かりです。

### まとめ

授業に対する興味は「ある」「ややある」を合わせると90%以上になり、早大生の授業に対する関心が非常に高いことが分かります。授業に対する満足度も、学部学生ではどの学年も4割以上が「60%以上」と回答しています。

また、コンピュータリテラシーが大学入学以前から行われてきている

ため、学生が身に付けたい能力は、「コミュニケーション能力」や「プレゼンテーション能力」など、より社会で求められる実践的な能力へと変化しています。大学でグループワークを通じた教育が増えたこともその一因と考えられます。